

2019年4月25日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

弥彦村と『地方創生に関する防災力向上に係る連携協定』締結

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は4月25日、新潟県西蒲原郡弥彦村（村長：小林豊彦）と『地方創生に関する防災力向上に係る連携協定』を締結しました。損保ジャパン日本興亜は、本協定の締結により、生活の中に歴史が溶け込み、四季折々の自然が楽しめる弥彦村の「安心」・「安全」な村づくりに貢献してまいります。

1. 背景・経緯

- ・弥彦村は、新潟県のほぼ中央部の日本海側に位置し、西は霊峰弥彦山（634m）を隔てて新潟市・長岡市と接し、東南は燕市、北は新潟市とそれぞれ肥沃な穀倉地帯を隔てて隣接しています。また、天香山命（あめのかぐやまのみこと）をご祭神としている越後一宮「彌彦神社」は万葉の昔から「おやひこさま」の愛称で広く民衆から愛され崇拝されてきました。また立地条件に恵まれているため、県内はもとより首都圏・関西方面との結びつきも強くなり新潟県屈指の観光地となっています。
- ・一方、弥彦村はこれまで大きな災害に遭遇したことがなく、弥彦村は、防災に関する村民への情報提供や村民の防災意識向上を課題としておりました。
- ・損保ジャパン日本興亜は、新潟県におけるトップシェアの損害保険会社として、地域産業の安定的な繁栄を支援するノウハウを活かし、村民サービスの向上と地域の活性化に貢献するため、地域創生に関する防災力向上に係る連携を弥彦村に提案し、このたび協定に至りました。

2. 協定の目的

弥彦村と損保ジャパン日本興亜は、緊密な相互連携と協力により、地域の安心・安全の向上を図ります。

3. 協定の主な内容

以下の4項目において、業務連携をします。

- (1) ドローンを活用した情報収集
- (2) 防災意識向上の普及
- (3) 地震保険の情報提供や加入促進
- (4) その他、安心・安全に関する相互協力

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、上記4項目について弥彦村と連携し、地方創生を支援していきます。

以上